

石川県埋蔵文化財センター 中期経営目標

(実施期間 平成27年度～平成29年度)

平成27年3月 策定

1 施設の設置目的

本県の埋蔵文化財調査の発掘調査、研究及び保存を行う拠点施設として、保護思想の普及啓発を図り、県民共有の文化資産として後世に引き継いで行くことを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

埋蔵文化財の発掘調査、研究や、出土品の整理、保存、記録、収蔵管理を一貫・継続して行うとともに、県民の埋蔵文化財に親しむ機会の提供によって、郷土の歴史を学び、文化財に対する関心と理解を深める場としての役割を担っています。

3 事業内容

(1)埋蔵文化財の発掘調査

地域の歴史・文化研究や社会の成り立ちを明らかにする埋蔵文化財の発掘調査を行い、記録、保存、遺跡の保護、活用のために必要な情報を得ることを目的として調査を実施します。

(2)出土した文化財の整理及び保存

発掘調査により出土した埋蔵文化財(出土品)の整理、保存、分析鑑定作業とともに、それに調査所見や、遺跡、出土品の評価等の執筆を行い、報告書を刊行し社会に情報の提供を行っています。

(3)埋蔵文化財の保管、活用、展示、研究及び保護思想の普及啓発

収蔵品の展示・公開、企画展の開催、古代体験のイベント実施や古代体験学習講座、埋蔵文化財に関する講演会、発掘報告会等を通じて埋蔵文化財の普及、啓発に取り組んでいます。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・施設の維持管理については、法令を遵守し、専門性、効率的、効果的な施設、設備の管理を行い、来館者に対する安全対策としてのAED・救急法講習会を実施し、安全確保の徹底を図り、常に快適で安全で安心して利用できる施設運営を行います。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・年間を通しての展示内容の更新、充実、本館ホール等を利用した企画展の開催、体験工房での古代体験メニューについては、平日の学校、生涯学習等の団体、土、日、祝休日の個人、家族連れを対象とするメニューを多様化し、内容の充実を図り多様な要求に対応できるよう努めます。
- ・ホームページの内容を充実しての情報発信、新聞・フリーペーパーなどへの情報提供・掲載のほか、積極的に取材依頼、協力を行い、各種メディアを広く活用した情報発信に努めます。
- ・学校や生涯学習施設等へ職員が出向き、古代の暮らしや歴史を学ぶ機会を提供する「出前考古学教室」、発掘現場での「親と子の発掘体験教室」を実施し、埋蔵文化財に親しんでもらえる機会を作るとともに、その様子をホームページにて情報提供を行いPRに努めております。
- ・当センター及びセンター以外の施設で実施する「発掘報告会」、「まいぶん考古学講座」、「講座 考古学最前線」は県民向けの公開講座であり、広く埋蔵文化財の最新の研究成果、調査成果を紹介し埋蔵文化財の魅力のPRに努めております。

(3) 施設運営の効率化について

- ・常にコスト意識をもち、光熱水費、消耗品費などの節約による、管理運営費の節減に努めております。
- ・施設、設備の管理については、保守点検、外部委託の見直しによる適正管理、効率的、効果的な節減に努めております。

5 中期経営目標

(1)中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ① 入館者数を3年間で5%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%を維持します。

(2)測定指標と目標値

測定指標		H25実績値	目標値(H29)
① 入館者数		16,735人	17,580人
② 利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	98.1%	95%以上
	施設の維持・管理	98.5%	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

① 施設の利用促進に向けた取り組み

- ・ 年末年始を除く、土、日、祝休日も開館し体験工房を中心に行う随時体験メニュー、期間限定メニューの更なる充実を図り、多様なメニューを体験することで、長時間体験者、リピーターなどの体験者のニーズに対応できるよう努めることで、入館者増の取り組みを強化していきます。
- ・ 閑散期対策として、鏡づくり、剣づくりなどの古代体験の開催日を定め、参加者を募集して複数回実施します。
- ・ 発掘現場における「遺跡現地説明会」を実施する中で、郷土の歴史を学び埋蔵文化財に対する関心と理解を深めていただいております。開催数の増加と更なる広報活動の強化により、県民参加の機会を増やすよう努めます。
- ・ 「出前考古学教室」においては、学校との打合せを更に密にし、要望に応える形で内容を見直すとともに、開催数の増加に取り組めます。
- ・ 上記館外活動の強化による認知度の向上を図るとともに、ホームページの最新情報の掲載、見やすさ、読みやすさに心がけホームページの充実を図り、各種マスメディアの活用により広報活動、情報発信を強化します。

② サービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・ 企画展示については、できるだけ専門用語を使わず、分かりやすい言葉で解説するよう努めます。
- ・ 利用者が安心して利用できる施設運営に心がけ、施設内外の清掃、施設、設備の保守・点検の徹底を図るとともに、職員の接遇の向上のための研修の充実に努めます。

- ・利用者のニーズ、満足度を把握するために、利用者に応じたアンケートの調査を行い、利用者の要望に適切に対応し質の高いサービスの提供に努めます。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・常にエコ意識を持ち、繁忙期、閑散期に見合った節電、節水等の経費節減に努め、効率的、効果的な管理運営を実施します。
- ・施設利用者、地元の方々からの意見を活かし、地域貢献、社会貢献に努め、より多くの方々に満足してもらえるよう努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

項目	H23	H24	H25
入館者	16,021人	17,947人	16,735人
館外事業 発掘体験教室	42人	49人	39人
出前考古学教室	(28件) 1,639人	(27件) 1,614人	(29件) 1,718人
計	17,702人	19,610人	18,492人